

令和5年度NPO公益活動支援事業 実施事業一覧

団体名	事業名	概要
NPO法人老いを支える北九州家族の会	『創立30周年の歩みに寄せて～明日へつながる一歩前進宣言誌』制作	会の30年の歴史と活動を明記した記録とこれからの会の進む道を明示した記念誌『創立30周年の歩みに寄せて～明日へつながる一歩前進宣言誌』を制作し、会員、市関連部署及び連携団体ほかに向けて560部を配布した。
一般社団法人キャリアサポートクラブ	あおぞらをつかむ2 ～誰もが輝く共生社会の実現に向けて～事業	知的障害、発達障害、グレーゾーン、精神疾患、不登校、引きこもり等、様々な方が無理のない形で社会参加し、活躍できる社会を目指せるよう、それぞれの抱える課題や要因を本人や保護者と一緒に検討し、寄り添って継続して取り組むオーダーメイドの支援を行った。 ①来所、訪問、体験同行、オンラインや電話面談による支援を実施。進学や就労につながった。(304回、幼稚園児から社会人まで参加者20名) ②茶話会と癒しになる余暇活動を実施。(11回、参加者19名) ③アートワークショップと公募展等への作品出展し、様々なコンクールにて受賞した。(10回、参加者30名、出品計84点) ④スポーツ活動を行った(16回、参加者33名) ①～④の活動を通して延べ参加者数745名となった。
北九州NPO・ボランティアフォーラム(協議体)	北九州NPO・ボランティアフォーラム～支えあいの場づくり～	北九州市内のNPO・ボランティア団体、個人が共に学びあうことで、育ちあい、支えあえるような活動交流の場をつくり、地域づくりに活かすため、「”人が育つ組織”とは?」「若きNPOプレーヤーにきく!」「”光る報告書”の世界」の計3回フォーラムを開催した。 それぞれ組織基盤の大切さ、活動を始める際の多様なきっかけ、報告書の工夫の余地等を学ぶことができた。
ランド・シェアきたQ	ランドセルリユース促進事業	物を大切に使い続けること、限りある資源の大切さを知り、身近なところから持続可能な社会を作る取り組みとして、児童が小学校を卒業した後に使われなくなったランドセルを回収、クリーニングし、リサイクルを行った。(10個) 成果物のチラシを市民センター等に設置、広報を行った。
特定非営利活動法人夢追いサポートセンター	公共施設を活用したシニアが活躍できる場づくり事業	「21世紀の福祉社会と対話の場」を基本ミッションとして、「新しい福祉社会はどうあるべきかを多世代の人々が自分で考え、参加者全員で対話すること」を旨とし、報告会を開催した。(計10回、延べ参加者数190名) 「地域コミュニティの場の京成」を基本ミッションとし、高田年長者いこいの家で交流会を開催した。(計10回、延べ参加者数84名)
特定非営利活動法人PLANET	依存の問題を持つ当事者の支援	オンラインセミナー「ネット依存の理解と対応」「アルコール・市販薬・処方薬・違法薬物の問題を抱えた中高生を理解して関わる」を開催した。(参加者数計55名) スマイルマルシェを開催した。(来場者数162名) 上記のほか、家族ミーティング、外部講師を招いた研修の開催、専門家への相談の場の提供を行った。
NPO法人北九州建物遺産トラスト	河野家住宅(旧池本家住宅)を猪倉地区の活動拠点とするために	河野家住宅(旧池本家住宅)を猪倉地区の地域活動の拠点とするため、解説板や案内板の新設及び既設の案内板の改修を行った。また、来訪者が見やすいように環境の整備を行った。 河野家だけでなく、猪倉地区の環境改善、農業実習、養蜂等の活動や存在を知ってもらうためのイベントを2回開催した。(参加者数計57名) 河野家住宅(旧池本家住宅)は、R6.3.6 国登録有形文化財となった。
公益財団法人無人機研究開発機構	キタキュウ未来創生事業～ドローンで未来のしごとを体験しよう!～	若手技術者育成の第一歩として、子どもたちへ無人航空機の基礎的・基本的な知識・技能を身につけるきっかけを提供し、無人ロボットの楽しさを伝える活動を行った。 ・ドローン体験勉強会の開催(11回、参加者数計294名)